

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月8日

所属名：湖北農産普及課

番号：G21005

部門分類：120 麦

発信者名：川村、中川、國島、長瀬

大麦の種子ほ場審査を実施しました

4月9日、5月20日に長浜市高橋町にて、湖北地域として初めて大麦「ファイバースノウ」の種子ほ場の出穂期審査、糊熟期審査を行いました。

湖北地域では近年、「ミノリムギ」から、六条大麦「ファイバースノウ」へ全面的に品種転換され、現在では「ファイバースノウ」の作付面積が麦類全体の約70%を占めています。これまでは県外産の購入種子が生産者へ配布されてきましたが、今年度から湖北地域において1経営体1,070aで「ファイバースノウ」の採種を開始することになりました。

当課は採種生産者からの審査請求に基づき、審査員である職員複数名で出穂期と糊熟期の2回にわたりほ場審査を実施し、異品種、種子伝染性の病害虫の有無、雑草割合等を確認しました。結果は全てのほ場が合格となり、収量においても必要な契約基準数量の種子が確保できる見込みです。

この後は生産物審査を実施し、発芽率等を確認する予定です。

当課では、今後も湖北地域で「ファイバースノウ」の種子が安定生産できるよう引き続き支援していきます。



出穂期審査



糊熟期審査